

第8回 ティーンズ委員会大賞



フィクション部門大賞

『星の教室』



ノンフィクション部門大賞

13歳からの考古学

『なんで人は青を作ったの？ 青色の歴史を探る旅』



星の教室
高田 郁／著 角川春樹事務所



あらすじ

中学の卒業証書を受け取っていないさやか。義務教育さえともに終えていないという枷が、彼女を生き辛くさせていた。しかし、20歳の春、夜間中学に入学する。仲間たちに支えられて過ごす日々が、さやかの心を解きほぐし…。

ティーンズ委員の感想

- ・昼の中学しか知らなかったが、「夜間中学」という存在を知ることができた。
- ・不登校の友達がどんなふうに日常を過ごしているか、どう思っているか、想像や思いを巡らせることができた。進路としてこんな道があるんだということが分かった。
- ・夜間中学という道があることを広く伝えたい。不登校でもこの本を知つて、自分にも選択肢があるんだと少しでも思ってくれたらいいなと思う。
- ・作中に出てくる人の幅が広く、日本に住む外国人・いじめ・戦争を経験している人などが出てくる。いろいろな考え方・思いを知ることができた。

13歳からの考古学

『なんで人は青を作ったの？ 青色の歴史を探る旅』

谷口陽子、高橋香里／著

クレメンス・メッツラー／画 新泉社



あらすじ

かつてウルトラマリンブルーという青色1グラムは金1グラムと同じ価値だった!? 13歳の蒼太郎と律が、化学者の森井老人の指導のもと、人類がどうやって「青色」を手にしたのかを証明する壮大な再現実験に挑戦する。

ティーンズ委員の感想

- ・本好きじゃない人、物語に興味がない人にも手に取ってほしい。
- ・当たり前のようにある青色がどうして作られたか、どのように作るのか、色々な疑問が浮かんできた。
- ・これまでの歴史で、場所も方法も様々に青色が作られてきたことが分かった。
- ・「青色」はただの色じゃない！その奥深さに興味が沸いた。
- ・ノンフィクションだけど、物語調。主人公も中学生なので読みやすかった。



こっちもおすすめ！最終候補作（今回はノンフィクション部門のみ）



さみしい夜のページをめくれ

古賀 史健／著 ならの／絵 ポプラ社

あらすじ

うみのなか中学校3年生のタコジローは、進路に悩んでいたある日、ヒトデの占い師に呼び止められる。本棚から泳いでくる本。まぶしく光ることば。仲間たちとの出会い…。「世界との人間関係」を築く本。

ティーンズ委員の感想

- ・なぜ勉強するのか、志望校をどう選ぶかなどが書かれていて、中高生の悩みに寄り添ってくれる。
- ・物語調になっていて、よくあるノンフィクションよりも読みやすい。
- ・ノンフィクションと聞いて国語の教科書を思いうかべた人にこそ読んでほしい。堅苦しさなし。思ったよりもいくつかもう思うはず。

ティーンズ委員会とは？

小平市の図書館をティーンズ世代にもっと使ってほしいという思いから、毎年、市内在住・在学の中高生を中心に活動しています。令和7年度は9名の中高生がメンバーとなり、ティーンズ世代に読んでほしい本をティーンズ委員会大賞として選びました。



問合せ

小平市立仲町図書館

☎ 042-344-7151

〒187-0042 小平市仲町 145